

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(1学年) <年間45時間>

担当(菊山)

<教科の教育目標>

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・オリエンテーション	1	・小学校との違い、心構え、授業内容や評価方法を知る。	③	・日常生活、小学校の図画工作での造形活動を振り返るとともに、美術を学ぶ意味について自分なりに考える。 ・美術の学習は、表現や鑑賞を通して自分の思いを実現する力や、人や社会との関わり、よりよく生きる力を身にけるものであることに気づこうとする。	授業観察 プリント学習
4～5月	・色彩の基本・仕組み(色彩の学習)	3	・色彩の基礎を学ぶ。 ・アクリルガッシュの正しい使い方を習得する。	① ② ③	・色彩についての基礎知識、効果や感情を理解する。 ・身の周りの色彩の美しさに気づき、その良さを感じ取る・アクリルガッシュの基礎技能、美術室でのマナーを身につける。 ・デザインの基礎である色彩に関心を持ち、色の性質や感情を理解しようとしている。 ・色彩と日常生活との関わりに興味を持つことができる。	制作活動観察 プリント学習 作品 授業PF 定期考査
5月	・【鑑賞】対話型グループ鑑賞	1	・名画をグループで鑑賞し、言語活動を行う。	① ② ③	・作品に対する発見や理解、愛情を深め、鑑賞の楽しさや魅力を味わい、創造への関心を高めようとしている。 ・主体的に作品を見つめ「見て・感じて・考えて・話し・聞く」に親しもうとしている。 ・言語活動を通してグループでイメージする意義や共有することの大切さを感じとり、他のグループのよさを発見している。	授業観察 授業PF 定期考査
5～7月	・文字が生み出すイメージ(絵文字)	13	・身のまわりのデザインについて基礎的な知識を学習する。 ・レタリングの方法・基礎を学び、自身が選んだ文字の持つイメージを、目的に合った形や色を用いて表現する。	① ② ③	・明朝体とゴシック体の違いを理解し、文字のバランスを考えながら正しく書くことができる。 ・自身が選んだ文字の形や色の特徴を的確につかみ、対象から受けるイメージを、目的に合った形や色を用いて工夫して表現する。 ・情報を伝えるデザインに関心をもち、意欲的に表現する。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的に行い、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見している。	制作活動観察 プリント学習 アイディアスケッチ 作品 授業PF 最終PF 定期考査
7月	・その1枚が心を動かす(ポスター)		・色彩、文字のデザインなど学んだものをポスターとして制作する	① ② ③	・描画材や絵の具などの材料や用具の生かし方などを身につけ、意図的に工夫している。・多くの人にメッセージが伝わるように、絵や文字の組み合わせを考え、工夫してデザインしている。	作品
8～9月	・美術のあゆみ(西洋美術史)	2	・美術史を学び、時代や文化の特徴、人間と美術のかかわりについて考える ・作品から受けた感想を言葉で表現する。	① ② ③	・美術の歴史や文化の特徴に関心をもつ。 ・人々の思いの変化と表現のかかわりを見る。 ・美術史の時代区分と特徴を理解する。 ・作品を鑑賞して、自分や友人の感じ方を味わう。	授業観察 授業PF 定期考査
9～10月	・見つめて、感じて、描いて(鉛筆デッサン)	7	・身近なものを観察して、形のとらえ方、明暗表現による立体感の出し方を学習する。	① ② ③	・デッサン表現の技能を身につけ、観察した対象の特徴や質感などを理解し、捉えることができる。 ・身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にすること。 ・作品を鑑賞して、意図や工夫した点を見つける。 ・モチーフを積極的に観察し、自分の表現意図に応じて構図をとり、根気強く創造的に取り組んでいる。	制作活動観察 作品 授業PF 最終PF 定期考査
10～3月	・祭を彩る造形(仮面)	18	・伝統工芸品について知り、粘土や和紙を使って、素材のもつ柔らかさを大切にしながら、工夫して表現する。	① ② ③	・和紙や粘土の性質や特性を知り、素材に対して関心をもって制作に取り組もうとする。 ・形や色を工夫し、特徴を強調したりして表現することができる。 ・意図に応じて材料や用具を生かし、基礎的スキルを身に付ける。 ・作品を鑑賞して、自分や友人の感じ方を味わう。	制作活動観察 プリント学習 作品 授業PF 最終PF 定期考査

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(2学年)＜年間35時間＞

担当(菊山)

＜教科の教育目標＞

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

＜評価の観点＞

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・美術ってなんだろう(にんにちは新しい教科書)	1	・新しい教科書の中から好きな作品を1つ選んで模写し、表現について考えたり感じ方を深め、広げたりする。	① ② ③	・美術の目的や社会的な役割を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分にとっての美術とは何かを自分なりの言葉でまとめられている。	授業観察 プリント学習
4月	・【鑑賞】空想の中の不思議な世界(シュルレアリスム)	2	・シュルレアリスムの様々な絵画作品を鑑賞し、視野を広げられるようにする。 ・鑑賞をもとに、夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりする。 ・鑑賞した作品からどのように感じ、どんな特徴があるかななどを言語化する。	① ② ③	・構図や色彩などが感情にもたらす効果や、具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・積極的に鑑賞し、作品から主体的に感じ方や見方などを言語化しようとしている。	授業観察 プリント学習 授業PF 定期考査
5月	・さまざまな技法を学ぶ(モダンテクニック)	2	・表現意図に合わせて表現方法を学ぶ。	① ② ③	・モダンテクニックについて理解を深める。 ・表現道具と効果、制作手順を理解する。 ・技法の特徴をもとに、自由に発想を広げる。	制作活動観察 作品 授業PF 定期考査
5～10月	・不思議な空間in my mind(遠近法を用いた空想画)	12	・遠近法が生まれた訳、種類や描き方を理解し、奥行きを感じられる不思議な空間を作り出す。 ・意図に合わせて表現方法を工夫する。 ・表現手法の多様化について関心を深めるとともに、自らの表現へ効果的に生かす。	① ② ③	・表したい世界観のイメージをもちながら、用具、制作手順、表現方法の特性や効果・特徴を理解し、それらを効果的に活用することができる。 ・遠近法を取得し、効果的に表現している。 ・表現したい内容の技法・描画材や色を的確に選び、制作に対する工夫ができる。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的に行い、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見する。	制作活動観察 作品 授業PF 最終PF 定期考査
9～11月	・錫に思いをのせて(鍛金)	8	・金属の特徴を知り、用具の特性を生かし、意図に合う表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考え、見通しを持って器を表現する。 ・創造的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、目的や機能との調和を感じ取って見方を深め、作品に対する自分の価値観をもって批評し合って、美意識を高め幅広く味わう。	① ② ③	・材料の特性を生かし、表したいイメージを持ちながら制作順序を考え見通しを持って制作している。 ・表現するテーマを自ら考え、特徴やイメージを捉え、豊かに表現しようとしている。 ・形の特徴や印象から全体の感じ、本質的な良さや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 ・金属の造形に関心を持ち、対象の特徴やイメージを捉えて表現しようとしている。	制作活動観察 作品 授業PF 最終PF 定期考査
12～3月	・浮世絵っておもしろい ・日本美術との出会い(浮世絵パロディ)	10	・浮世絵を知り、構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象がどのように生かされているかとらえる。 ・ジャポニズムの表現の特色や美しさ、時代背景に関心をもち、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞に取り組む。 ・浮世絵作品からパロディを考え、伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え表現する。	① ② ③	・浮世絵および印象派の形や色彩、表現技法の特徴をもとに、全体のイメージや年代や作者による作風などで捉え、時代的な差異や世界的な価値観で浮世絵をとらえようとしている。 ・浮世絵の受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化の良さを感じとり愛情を深めるとともに、印象派など西洋の美術や文化との相違や共通点に気づき、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見かた感じ方を深める。 ・浮世絵の表現をもとに、社会との関わり、機智やユーモアなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え、ギャグではなく洒落やユーモアのある面白さを表現しようとしている。	制作活動観察 プリント学習 レポート アイディアスケッチ 作品 授業PF 最終PF 定期考査

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(3学年)＜年間35時間＞

担当(菊山)

＜教科の教育目標＞

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

＜評価の観点＞

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・美術ってなんだろう	1	・美術とは何か、自分なりにとらえる。	① ② ③	・美術の目的や社会的な役割を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分にとっての美術とは何かを自分なりの言葉でまとめられている。	授業観察 プリント学習
4～5月	・仏像の姿に見る人々の祈り	2	・仏像や日本建築を学び、時代や文化の特徴、人間と美術のかかわりについて考える。 ・作品から受けた感想を言葉で表現する。 ・研究活動や修学旅行を通し、実感を伴いながら理解する。	① ② ③	・美術史の時代区分、仏像の分類や特徴を理解し、美しさを感じ取る。 ・日本美術の歴史や文化の特徴、よさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、意欲的に鑑賞している。	授業観察 プリント学習 レポート 授業PF 定期考査
5月	・筆と水で多彩に表す(水墨画)	3	・水墨画の特徴や技法を学び多様な表現を味わい、独自の世界を表現する。	① ② ③	・水墨画の表現技法を理解し、工夫して表現する。 ・墨の性質を生かした表現を構想する。 ・作品を鑑賞し合い、良さや工夫したところを発見する。 ・墨が作りだす効果や美しさに関心をもつ。	制作活動観察 作品 授業PF 最終PF 定期考査
6～10月	・私自身を見つめて(自画像)	12	・クロッキーとの出会い ・さまざまな自画像を鑑賞し、自分を見つめ、創造的な工夫をしながら作品を制作する。	① ② ③	・表現技法を習得し、自分の作品へと活用している。 ・自己を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出している。 ・構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景、色彩などに着目し、印象などをとらえ、描画材や用具の特性を生かして表す。 ・制作する順序や時間に考慮して、作品を完成させることができる。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的に行い、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見する。 ・心の中を見つめ、自画像で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	制作活動観察 クロッキー アイディアスケッチ 授業PF 最終PF 定期考査
10月	・【鑑賞】あの日を忘れない	1	・ピカソの「ゲルニカ」を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いをかんじ取る。 ・作品が描かれた背景について知り、美術文化への見方や感じ方を深める。 ・感じたことや気付いたことを話し合い、他者の考えにきょうみを持ち、作品の見方を深める。	① ② ③	・光や色彩などが感情にもたらす効果や、形の造形的な特徴をもとに、作者が託した思いを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・ゲルニカやその他のピカソの作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作品が作られた背景をもとに、表現の意図や工夫を考え、見方や感じ方を深めている。 ・造形活動に託された思いをくみとり、平和への考え方を深め、他者の考えに理解を示そうとしている。	授業観察 レポート
10～2月	・つくる、使う、材料を味わう工芸(篆刻)	13	・篆刻を学び、手で印を作り上げる良さに触れる。 ・自分の名前を用いて、自分を表現する	① ② ③	・篆刻の基礎知識を学び、理解する。目的に応じて用具を効果的に使い、表現する。 ・文字を用いて自分らしい表現を創意工夫し創造しようとする。 ・文字のレイアウトを考え 美しいデザインの構想を練る。 ・自分や友人の作品が美しく、かつねらい通りに表現できているか、良さや工夫したところを発見する。 ・使うことを考えたものをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	制作活動観察 プリント 作品 授業PF 最終PF 定期考査
3月	・【グループワーク】即興タワー	1	・構造を瞬時に考え、それぞれの条件のもと、協力して制作する。	② ③	・グループでアイディアを出し合い、即興で協力して制作しようとする。 ・チームで作る意義や大切さを感じると共に、他チームの良さも発見する。	制作活動観察 授業PF